

すぎやま
杉山 寧 やすし
かやま
加山 哲也 てつや

〔近代日本画〕

〔陶芸〕

二人展

加山哲也《金龍文瓶》



昭和を代表する日本画の巨匠・杉山寧（1909～1993）と、同じく戦後日本画壇を牽引した加山又

造の長男で陶芸家の加山哲

世を去るまで精力

的な創作活動を続けた。一

方加山は、多摩美術大学日

本画専攻卒業後より番浦史

郎に師事し、陶芸の世界へ。

その後大磯に築窯し、20

02年には父との二人展を

開催した。

今展では杉山の遺作10点

と、加山の花入、壺、茶碗、

食器などの約40点をあわせ

人展が開催される。

東山魁夷、

高山辰雄と並

んで『日展三

山』と称され

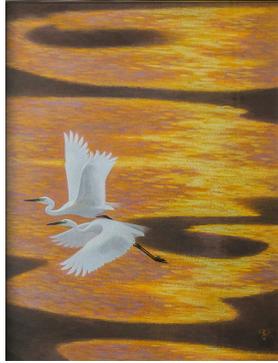
た杉山。70年

に日本藝術院

会員就任、74

年に文化勲章

杉山寧 《映》



て展示予定。時代も表現も異にしながら、ともに生命力溢れる作品で人々を魅了する両者による、貴重な展観となるに違いない。

★8月21日(日)～27日(土)柿傳ギャラリー(東京都新宿区新宿3-37-11安与ビル地下2階) ☎03-33352151-8 休無休 無料